

2007 年度 名古屋研修旅行 名古屋で留学生とプロジェクトワークをしました

日本文学科で日本語教育を学ぶ学生 12 人が、2 月 19 日から 23 日までの 4 泊 5 日の日程で名古屋の南山大学外国人留学生別科を訪れ、日本語を学んでいる留学生と合同プロジェクトをしてきました。留学生と宮城学院の学生混合の 6 つのグループがそれぞれ名古屋文化(名古屋弁、喫茶店のモーニングサービス、名古屋駅周辺の再開発事業、名古屋の交通システム、名古屋嬢、大須)について調査し、発表会を開きました。

意欲的で積極的な留学生との共同作業は驚き、発見、刺激に満ち、充実した 5 日間となりました。

2 月 20 日—21 日

各グループで選んだテーマについて調査し、発表のための準備をしました。

事前に作成していた計画書に基づき、より良い調査ができるよう、さまざまな意見を出し合いました。



2 月 22 日

グループで調査した内容について発表しました。

発表原稿の日本語を宮城学院の学生がチェックしたり、パワーポイントの使い方を留学生が教えたり、お互いが学び合いながら、発表の準備をすることができました。発表は短期間で準備したのものとは思えないほど充実しており、質疑応答の時間も鋭い質問が飛び交いました。



学生のジャーナルより

名古屋文化プロジェクトも今日で終了です。長いと思っていましたが、あっという間の4日間でした。その間にたくさん学ぶことができ、日本語教育に関することだけではなく、全ての面において新しい物事が吸収できたと思います。日本語教育においては、教科書や資料に基づいた教え方だけが大切なのではないということがわかりました。今日の打ち上げパーティーにはたくさんの留学生が来てくれて、全員と関わることができ、とても嬉しいです。積極的に関わって行ってよかったです！こんなに大切に思える出会いと時間に感謝です。(Uさん)

プロジェクトワークの発表は失敗できない、という思いからとても緊張しました。でも、質問が来たときなど、グループのみんながちゃんと答えてくれたのでとても頼もしく思えました。バタバタと時間のない中進んでいたプロジェクトワークでしたが、準備のときも含めて大成功であったと私は思っています。この数日のおかげで私たち日本人、また留学生お互いが、さまざまなことを学び、成長できたのではないかと思います。名古屋に来て本当によかったです。(Tさん)